

## より多くの方が 参加することで 増す魅力



登別市老人クラブ連合会

会長 **池田 泰彦** さん

登別市老人クラブ連合会では、市内にある各老人クラブの連携を図るため、年2回のパークゴルフ大会や春の研修旅行、登別市老人クラブ大会・演芸発表会などを開催し、普段親睦を深めている会員の皆さんのつながりをさらに広げていただくとともに、日頃の活動の成果を発表できる場を準備するなど、会員それぞれが取り組んでいる生きがいを支援をしています。しかしながら現在の会員は、70・80歳代が中心で、会員数も減少している状況です。老人クラブは、高齢者の余暇を楽しむ場と思っている人もまだ多いかもしれませんが、高齢社会となっている今だからこそ、老人クラブが担う役割は大きくなっています。

クラブ活動によって強まった地域で暮らす人と人とのきずなが、住み慣れた地域で生活し続けることにもつながっていきます。そのためにも、クラブの魅力さをさらに高めていく必要があり、やはり60歳代の若い人たちにも、ぜひ参加していただきたいと思っています。より多くの仲間と共に、活発なクラブ活動を展開できるよう、引き続き取り組んでまいります。興味のある方は、同連合会に気軽にお声掛けください。



▶ 会員のハーモニカ演奏に会場内から自然と歌が湧き起こった「演芸発表会」

人クラブ大会・演芸発表会



## 新 たな

## 出会いを 求めて

多くの人の『生きがい』の場になっていく老人クラブですが、新たに加入する会員は、年々減少傾向にあります。

地域で生活する60歳以上の人は増加しているものの、70歳を超えても働き続けている人が多くなっていることなどのほか、『老人クラブ』という名称を敬遠して参加しない方も多いいわれています。

しかし、『老人クラブ』が生まれてから約半世紀。名称は変わらざとも、時代の移り変わりとともに、クラブが担う役割は、憩いの場としてだけでなく、自分らしさを発見できる場にもなっており、人生をより充実したものにしてくれる場でもあります。

仕事や子育てが落ち着き、「自分の趣味は何だろう」、「いったい何をして過ごそうか」と悩んでしまったとき、新たな仲間や生きがいを見つけることができる『老人クラブ』に参加